

日時	2023年10月14日(土) 9:45 ~ 12:00 天候：曇
場所	湿地、2階交流スペース

講座・活動名	<b>湿地モニタリング調査 &amp; 観察園全樹木調査</b> 毎月第2土曜定例
参加者	10名(うち子ども名) 構成：講師1名、(環境局1名) NTT西日本関西支店2名、エコボラ6名、事務局0名
講師名	鈴木真裕(大公大) (エコボラの場合氏名に*印をつける)
内容	生き物調査、標本作製、データ入力、(報告書作成) 毎木調査準備
使用器材 資材・道具	(持参、借用等も含む) PC、大型モニタ、マイクロスコープ、調査用紙、たも網、金魚網、バット、タッパ、スポイト、エチルアルコール、バイアル瓶、ピンセット、古新聞紙、ラベル用中性紙、ケント紙、クリアポケット、タックラベル、水性のり
振り返り  エコボラ通信に掲載することがあります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この日は米講座の稲刈りが行われたため、エコボラの参加スタッフは少なかった</li> <li>・D深水域で、ヤナギタデとみられる個体を確認した</li> <li>・夏。秋の植物は枯れる時期に入り、多様性に欠けていた</li> <li>・ジュズダマと言っていたものが、ケイヌビエと判明した</li> <li>・アメリカザリガニは4匹で思ったより少なかったものの、代わりヌマエビが400匹ほど大量になっており、種類は少ない状態</li> <li>・ヒメタニシが増えていた</li> </ul> <p>・毎木調査準備は、以前にラミネートで制作したラベル、タッカーや撮影時の番号札などを、再度利用可能かどうかを確認した。当初はラミネートラベルでは耐久性がないとして保留していたが、測定時の目安として短期間なら取り付けられるのではないかとということで、検討することにした。</p>
事務局への 伝達事項 次回案内等	★植物用調査記録用紙を改訂していますが改訂前のものが残っていたらそれを使用します。

スタッフ氏名	活動内容	参加者氏名	活動内容
柘元慶子	植物調査・標本採集・撮影	NTT 井上	毎木調査準備
林耕太	植物調査	環境局 諸岡	毎木調査準備
西田敏子	植物調査	環境局 船木	毎木調査準備
渡辺喜代子	植物調査		
芝崎美世子	動物調査・採集		
北川ちえこ	植物調査		

いずれかに○→(○)裏面に図面、写真等を添付した ( )裏面なし ( )詳細はファイルで提出

図面・写真等 添付面

日時	2023年10月14日(土)	記録者	榎元慶子
講座・活動名	湿地モニタリング調査		

## 湿地の状況 20231014



北方向  
20231014



南方向  
20231014

1

## 湿地に出現した生き物 20231014



アゼナ 20231014



アメリカアゼナ 20231014



ケイヌビエ 20231014



タチスズメヒエ  
20231014  
Keiko Masumoto

## 湿地に出現した生き物 20231014



ミソバ  
20231014



ヤナギタデ 20231014



オオバコ  
20231014 Keiko Masumoto



20231014 3

## 湿地に出現した生き物 20231014



スジエビ 20231014



カワリヌマエビの一種 20231014



アメリカザリガニ 20231014



Keiko Masumoto フロリダマミズヨコエビ 20231014 4

## 湿地に出現した生き物 20231014



ハイイロゲンゴロウ 20231014



チビズムシの一種 20231014



ヒメタニシ 20231014 Keiko Masumoto



ミズミズの一種 20231014 5

## 湿地に出現した生き物 20231014



アオモンイトトンボ 20231014



コカゲロウの一種 20231014 Keiko Masumoto



水生生物採集 20231014